

令和 6 年度 第 1 回 学校運営協議会議事録

校名	府立むらの高等支援学校
校長名	森本 裕

開催日時	令和 6 年 7 月 16 日 (火) 14:30~16:30
開催場所	共用棟 2F 会議室
出席者 (委員)	(会長) 土口 千恵子 (副会長) 上國料 洋子 (委員) 富田 雅信 三瀬 吉彦 ※順不同、敬称略
出席者 (学校) ※回覧	【事務局】(教頭) 野村 佳津 (事務長) 山地 千里 藤川 泰生 速水 彬裕 重松 亮 阿南 幸佑 上田 航 遠藤 幸子 新澤 隼人 森本太一朗 鳥井 睦子
傍聴者	なし
協議資料	① 協議会次第 ②協議会委員名簿 ③参加者名簿 ④実施要項 ⑤運営計画 ⑥令和 5 年度/令和 6 年度 学校経営計画及び評価 ⑦授業時間割表 ⑧校時表 ⑨教育課程表 ⑩進路年間計画、7 期生進路状況一覧 ⑪令和 6 年度教科書採択一 覧表、令和 7 年度選定状況 ⑫土曜参観および前期授業参観アンケート集計結果 ⑬協議会傍聴規則
備考	後日、議事録を学校ホームページで公開

議題等 (次第順)
1) 資料確認……………藤川より 2) 校長 (教頭) 挨拶…………… 教頭より 3) 委員、事務局紹介……………藤川より 4) 協議会実施要項・運営計画……………教頭より 5) 報告 ・意見書の提出について ・R 5 年度学校経営計画/評価、および令和 6 年度学校経営計画について ・R 6 年度授業時間割・教育課程について ・進路指導年間計画および第 7 期卒業生の進路状況について ・R 6 年度採択教科書紹介および R7 年度採択教科書選定状況 ・土曜日参観および前期授業参観アンケート集計結果紹介 ・むらのセミナーについて ・周年行事について 6) 協議 7) 校長 (教頭) 挨拶 8) 事務局より 9) 閉会
協議内容 (質問・意見の概要)
【委員からの意見交換及び協議】 < 7 期生の進路状況について > ・進学された卒業生のことをお伺いしたい。また、共生推進教室の卒業生の中に在宅の方がおられたのはなぜか。共生推進教室の生徒は就職が難しいのか。 → (進路指導部) 共生推進教室の在宅 1 名については 4 月からアルバイトをしており、結果的に現在は就労している。しかしながら本資料を作成した時点では進路先が決定していなかったため在宅の記載となった。本校の在宅 1 名については事情があって登校ができていなかったが、卒業後に自立訓練か就労移行支援に進めているという状況である。共生推進教室の就職が難しいのかということについては、この年については福祉事業所に進まれる方が多い結果となっただけで毎年就労に向けて取り組んでいる。

<人権教育について>

- ・教員向けに人権意識の向上を図るとあったが、生徒が人権について学ぶ機会があるのかが知りたい。実際社会人になって人権侵害を受けた時に、それを発信できる方が少ないことが課題だと考えている。

→（生徒指導部長）本校では3年間を通して人権学習の単元名を設定して体系的に指導を行っている。どちらかといえば自分自身が他者の人権を侵害しないことを目標に学習に取り組んでいる。3年生の学習する単元の中に「障がい者の人権」があり、そこでは自分が人権侵害された時の対応にも触れている。

<進路指導について>

- ・就労に向けて生徒一人ひとりに応じた細かい進路指導とはどのような指導か。また、就職先の会社の説明などを学校で行っているのか。また、過去に実習を兼ねて稲刈りを体験してもらったが、そのような学習体験のようなものがあるのか。来年からはこのあたりの田がなくなるので、ぜひ体験の機会をもってもらいたい。

→（進路指導部）大前提として進路指導部が主になって実習に向けての事前学習、事後学習、進路学習会を行っている。またキャリアデザインという授業が3年間カリキュラムに組まれている。実習に参加する生徒に対して課題やできたこと（得意なこと、苦手なことなど）を担当が中心になって個別対応で振り返りを行い、進路指導部が中心となって会社とのマッチングを行っている。会社の説明に関しては、担当が保護者に丁寧に説明して情報提供を行っている。

→（首席）稲作は収穫するタイミングが大事と以前お伺いしたので、そのタイミングと授業のタイミングが合致するかが課題と思っている。そこをクリアできれば実現可能ではないかと思う。

<個別の指導計画について>

- ・個々に就労に向けたアセスメントを進める中で、一人担任から二人担任制に今年度より体制を変えられましたが、具体的にどのような取り組みがあるのかご説明いただきたい。

→（支援教育部長）個別の教育支援計画等を単に作成するだけでなく、生徒自身に目標を意識させるために担任面談の機会を設け、その中で必ず個別の教育支援計画等の目標を伝えるようにしている。今年度は組織改編により各学年に支援コーディネーターが配置されているので、必ず目標の確認等を個別に行っている。生徒たちが自分の目標を自覚しながら進めていければ良いと思う。

<担任一人制から二人制に変わっての現状について>

- ・二人担任制で運営としてうまく進めているのか。

→（首席）元々担任は二人体制で行っていた。時間外勤務削減をめざし、担任と分掌の仕事を完全に分業化するために3年間は一人担任制を行った。

→（1年学年主任）1年生なのでまずは生徒たちの実態把握が必要であり、担任が二人いることで実態把握がしやすくなった。また生徒が何か相談したい際に担任が二人いることで相談相手の選択肢が増えた。

→（3年学年主任）一人担任が良いか二人担任が良いかの考えには学年によって違いがあると思う。3年生になると生徒の成長がみられ、一人担任でも対応できるようになっている。今の3年生が1年生の時は一人担任であったが、1年生は確かに二人担任の方が良いのではないかという印象を持った。

<ICTを使った授業展開について>

- ・教員の力だけでICTを推進していくのには難しさがあるのではないかと考えている。場合によっては行政の力も借りないといけないのではないか。実際は、そのあたりはどのように進めているか。

→（教務部長）本校のICT活用状況について、大阪府からアクションプランがおりてから昨年で3年を迎えた。今年度から新たなプランがおりてきている。各校の事例が共有される場があったり、困った時にはサポートセンターが対応してくれたりしている。本校が使用しているロイロノートからも活用例などの案内が届いておりそれを参考にしている。また、教育センターの研修等も活用している。

- ・ICTが普及すると個人情報トラブルも増えそうだが、どのように対応しているか。

→（生徒指導部長）他の生徒の写真を許可なくSNS上にアップロードしてしまうトラブルは起きたことがある。そうならないためにも情報の授業や外部講師による授業を通してSNSトラブルを未然に防ぐための方法を学習できる機会を設けている。

<淀川河川公園の職場体験実習について>

- ・ 淀川河川公園での体験実習は具体的にどのようなことを行っているのか。
→ (進路指導部長) 例年 1 年生が淀川河川公園太間地区での体験実習を行っている。河内綿の播種除草作業、土づくり作業、河内綿の収穫などを行っている。この体験実習での個々の生徒たちの作業の様子をみて、1 年生の 1 回めの職場実習先をマッチングする参考にしている。

<地域との交流について>

- ・ 桜丘小学校との交流を行っていると同ったが、村野こども園との交流もやっていただくことは可能か。
→ (首席) 過去には桜丘小学校とは家庭科の授業の一環で紙芝居の読み聞かせを行っていた。ただ新型コロナウイルスで交流が難しくなって現在は行っていない。現在は、サプリ村野との「ふれあい授業」という形で専門学科が中心となって年 3 回ほど交流を行っている。以前から実績はあるので、こども園との交流が実現できるかどうか分からないが、担当教科等にも相談をしていく。
→ (委員) 貴重な意見がたくさんあった。地域と密着した取り組みを年間計画の中でまた考えてもらいたい。

<まとめ> (首席より)

- ・ 本日の議事録は、委員の皆さまにご確認いただいたのちに学校ホームページに掲載します。
- ・ 第 2 回学校運営協議会は、10 月 1 日 (火) 14 時 30 分からです。協議会前には、授業見学の時間を設けているので、またご意見をいただけたらと思います。
- ・ 次回は、学校教育自己診断についての原案についてなどの内容となる予定です。
- ・ 開催には過半数のご出席が必要となるため、ご協力をよろしくお願いいたします。

以上